

新型コロナウイルス感染症に関するアンケート報告

北海道内科医会 会長 西里 卓次

北海道においては5月後半に新型コロナウイルス感染症について会員の皆様にアンケート調査を実施しました。緊急事態宣言が5月25日に解除される前であり、やや落ち着きつつあったとはいえ感染対策にご苦労されながらの診療に御忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた先生方に心から御礼申し上げます。調査結果の概要を以下に示します。詳細については会誌に掲載する予定です。

マスク、アルコール消毒液等の基本的な感染防護具が極端に不足するなかで、感染症への備えがもっと必要だと感じた先生も多かったのではないのでしょうか。

患者さんの受診抑制や受療行動の変化等もあり、医業経営にも大きな影響がでています。早急に力強い支援を期待したいものです。

9月となり、今後のインフルエンザ流行期を前にしてインフルエンザワクチン接種、検査体制の整備が急がれています。プライマリ・ケアを担うかかりつけ医への期待も引き続き大きいと思われませんが、会員の皆様が連携し、それぞれの立場で協力することで患者さんが安心して生活できる地域医療を守ることが大切と考えます。会員の諸先生の御健勝と御活躍を心よりお祈り申し上げます。

北海道内科医会

新型コロナウイルス感染症に関するアンケートの結果（R2年5月16日～5月31日に施行）

アンケート依頼会員 221人 回答者数68人（31%）

Q 1. 回答者の年代

30代	0人
40代	1人
50代	12人
60代	34人
70代以上	21人

Q 2. 回答者の勤務先

診療所	49人	(72%)
病院	19人	(28%)

Q 3. 発熱患者の外来診療についてあてはまるもの（複数回答可）

	人数	%
1. 通院患者からCOVID-19への感染が不安と相談された。	53人	78%
2. 連絡なく初診で来院した発熱患者がいた。	51人	75%
3. PCRは実施しなかったがCOVID-19を強く疑った例があった。	30人	44%
4. 診察後、後日他施設からPCR陽性であったと連絡をうけた例があった。	9人	13%
5. COVID-19疑い患者を診察し、PCRで確定診断された。	11人	16%
6. 御自身や職員の感染の危険を感じたことがある。	42人	62%
7. COVID-19疑いまたは確定例の診察後休診となった。	1人	1.4%
8. 発熱またはCOVID-19疑い例の受診を制限した。	23人	34%

Q 4. 発熱患者、COVID-19疑い患者をより安心して受け入れるための条件(複数回答可)

	人数	%
1. マスク、消毒液等が十分に供給されること。	58人	85%
2. 他の患者と確実な時間的空間的分離(院内隔離)ができること。	55人	81%
3. 安全な診断キットが開発されること。	58人	85%
4. ワクチンが実用化されていること。	55人	81%
5. 治療薬が使用可能となっていること。	49人	72%
6. 保険診療制度が更に充実されること。	28人	41%
7. 地域内での医療機関の役割分担が明確にされていること。	42人	62%
8. 濃厚接触者のための業務縮小、休診に対する支援制度の確立。	40人	59%
9. その他 ()	4人	

Q 5. PCR検査はこれまで主に重症例、クラスター対策を目的に施行されて来ました。
院内感染予防のためのPCR検査も提案されていますが、先生は？（複数回答可）

	人数	%
1. 担当医が必要と診断した症例は全例施行すべき。	47人	69%
2. 入院時、術前検査として認めるべき。	33人	49%
3. 現状と同じままで良い。	8人	12%
4. より安全な検体採取法（唾液等）または抗原検査キット等の完成を待つべき。	30人	44%
5. その他（ ）	1人	

Q 6. COVID-19流行後には遠隔診療が広がるとする意見があります。
先生は遠隔診療については（複数回答可）

	人数	%
1. もう利用している。	6人	8.8%
2. 今回、電話等による処方せん作成を始めた。	45人	66%
3. 従来どおりの対面診療のみとしている。	16人	24%
4. 保険診療制度のより手厚い評価が必要。	18人	26%
5. わからない。今後検討する。	7人	10%

Q 7. 今回パンデミックにおいては感染防護具、消毒液等の不足が続いています。

日医からも政府に要望されていますが、これらの備蓄は当然として、国内で生産できるシステムを確立し維持することに先生のお考えは？

	人数	%
1. 賛成	65人	96%
2. わからない	2人	2.9%
3. 反対	1人	1.4%

§ 質問に対するコメント、自由記載、ご意見等

Q 3 に対するコメント、自由記載

なし

Q 4 に対するコメント、自由記載

- ・ 受診前症状確認、受診システムの不確定に関する問題。
受診患者さんの不安に対する医療者側の対応（普段の）が不十分。

Q 5 に対するコメント、自由記載

- ・ より安全な検体採取法（唾液等）または抗原検査キットの適用を広く認めるべき。

Q 6 に対するコメント、自由記載

- ・ より日常的な診療上の患者さんとの情報交換をすべきで、即遠隔診療体制をしいるのはより拙速ですね。

Q 7 に対するコメント、自由記載

なし